

2010 年度第 1 回総会 議事録 文責：日本学連広報部長 市脇翔平

日時：2010 年 11 月 20 日 15:00-17:00

奈良県奈良市 野外活動センター食堂

1. 議長選出

→津田塾大学 小泉を選出。

2. 配布した活動報告書について

作成委員長、西名（茨城大 4）の元、完成した。

部室等の目に付くところに補完し、加盟員は適宜閲覧すること。

質問：購入希望だが代金は？

→後ほど回答

3. 日本学生オリエンテーリング連盟の規約改正について

（資料、活動報告書 p 131 参照）

第 3 章 地区学連 第 11 条（競技結果の報告）を削除（数年行われていない、実態に合わない、必要ない）

→21/21 で承認

なお別件だが、

第 8 章 評議員については、2005 年の時点で廃止されているので、活動報告書は誤り→各自削除のこと。

4. 今後の練習会開催の際の申請について

経緯は、第 2 回幹事会議事録「13.申請書・報告書の電子化について」を参照

何かトラブルがあったときのために必要なので、必ず徹底すること。

フォーマットは、資料：申請書の手引き参照

5. 09 年度決算の承認

（資料参照）

会計改革の結果、黒字とすることができた。

主な改革として、ユニバー補助金の大幅削減が挙げられる。

→経緯は 2009 年度第 3 回幹事会議事録「議題 4 会計支出の改善について」を参照

質問：収入項目にある、「2001 春下野 I C」とは何か（大阪大学）

→2006年に振り込まれていたが、当時の会計担当者の不備で、計上されていなかった。
2009年度に実際に振り込まれたわけではない。

決算を 22/22 で承認

なお、ロング・ミドルの優勝杯を昨年度の総会で修繕することを報告したが、
合計 17 万円で修繕され、このことは第 2 回幹事会で承認された。

6. 10 年度中間決算の報告

(資料参照)

加盟費が未処理のため、一見赤字に見えるが、加盟費値上げもあるので年度末には黒字の
予想

7. 全日本スプリント学生の部について

今年度も共催で行われることとなった。

日本学連幹事会で、学生の部の資格者について推薦基準を決定した。

学連は、共催さしていただいている立場であることを認識し、
運営の協力要請などがある場合は応じること。

8. 新規加盟校への普及資金フィードバックについて

経緯は第 2 回幹事会議事録「10.普及提案について」参照

$1000(\text{準加盟校登録費}) + 3000(\text{加盟登録費}) * \text{加盟人数}$ の式で、

駿河台大学 19000 円

日本大学、東京医科大学、麻布大学、関西大学、帝塚山大学各 4000 円
を普及部予算からフィードバックする。

質問：フィードバック以降に加盟員が増えたらどうするか？(大阪大学)

→補助する

9. ジェネシスマッピング社との契約更新について

(資料参照)

9 月の CC7 を最後に、ジェネシスマッピング社は体制を変えた。

今後は社名変更、山川氏が経営主体。

●第 2 条(業務範囲)の変更

運営の手間が少し増えるかもしれないが、10 万程度の経費削減が期待できる

●第 10 条(期間)の変更

山川氏の健康状態などを考慮

今後幹事長がこの方針で上田社長と交渉していくが問題ないか→24/25

10. インカレミドル・リレーの際の宿形態について

(資料参照)

日本旅行へのヒアリング結果

①今回のロングのように、幹旋宿を用意する方式はできるか?→

宿の確保の関係上期限は早めになるが、その期限を大学側が守れない問題等もあり、難色を示している、

②宿のグレード選択は可能か?→旅館組合との関係などもあり、年度による

③宿が自由化した場合のバス輸送は?→場所による。どちらかという実行委員側の負担の問題。

11. 大会の後援申請について

東大大会 25/25

インターハイ 23/26

で承認

12.今年度後夜祭・講習会について

後夜祭は岐阜県恵那市の 200 人規模の会場を予定 (昨年度は約 175 人の参加があった)。

参加費は旧人 9000 円・新人 7000 円を予定

講習会は参加費 6000 円を予定。

同学年等でつながりができることは学生オリエンテーリング会のために重要なので、是非参加を。

大学ごとで宿泊・打ち上げをやる場合も宿が近ければ部分参加は可能、応相談。

なお、春インカレ開会式は名古屋大学、椋山女学園大学に依頼する予定

13.今年度インカレミドルリレーの進捗状況について

●エントリー用の ID/pass を配布

→個人情報などの関係から、必ず一緒に活動している大学とかではなくその大学のものを使うこと

●宿泊… 2 グレードから選べる方式を採用

550 人程度の参加者のうち、250-300 人が安い宿、残りが高い宿

希望が合わない場合は差額返金

●輸送…モデル・開会式→車での来場可 収容台数十分

開会式会場→選手村 チャーターバス or 自家用車

輸送費は参加費と別

宿泊・輸送について未確定な点があるので、エントリー期間を12月ごろにする予定

質問：選手権BはAと同一コースか？リレーのウィニングタイムは走順ごとに違うか？

→選手権Bは要望を反映し、AとB同一コースの方向で動いている。

ただ涉外・運営上の都合により、別のコースになる場合もある

そもそも地図調査もまだであり、コースが未確定。優勝設定時間も未定。

(もちろん実施規則は逸脱しない範囲)

14.理事会報告

特になし

15.技術委員会報告

幹事長が代理報告（資料参照）

年度単位の活動報告は、活動報告書を参照

技術委員会は随時募集中。講習会は場所を問わないので、積極的に依頼して欲しい

16.テレインコントロールワーキンググループ報告

2011年インカレ春・秋ともに調整中→春の総会で報告予定

17.諮問委員会報告

特になし

18. 各部局活動報告

資料参照

普及部：新歓アンケートでは、女子大の新歓ピラを特に募集。

女子大の普及部長自身が女子大で、減少傾向にあるから。

19. 地区学連活動報告

資料参照

20. 来年度日本学連幹事について

募集中！特に女性が少ないので、広く声かけを。

21.次回総会の案内

2011年3月14日、インカレリレー翌日の午前を予定

以上